

山田 小栗・優 結婚式するまでは 現金総額 100万円 1万円×100名様 当たる!

家計応援 大感謝 3号連続企画

三倉 菜葉 一途愛ピアニストと「赤い糸」

赤い糸の女 妖艶演技の裏で

PSY 世界が韓流ちいブサメン34才と坂本九 認めた

10月18日号 特別定価390円

元祖 逆年の差婚 内海 桂子 24才年下夫へ大正女の終活

山口 智子 47 鈴木 保奈美 46 見ると辛いや 変われない女

美智子 約束手帳 守られ 福島の被災の村へ

女性セブン 10月18日号

消費増税で損しない 買い時MAP

無料アプリ リスト

備えてますか? もし今夫が死んだら

お米 おいしく食べる 興義

10月1日、赤煉瓦駅舎がグランドオープン

10月1日、赤煉瓦駅舎がグランドオープン、多くの人々を出迎え、見送った1世紀に及ぶ物語

東京駅が

映し続けた「日本の夢」

1914年の開業から98年。赤煉瓦とドーム屋根の威容はそのままだ。東京駅が新たに生まれ変わった。明治時代、日本の建築家が初めて手がけた当時アジア最大と呼ばれた建築物は、首都・東京のランドマークの中心として、かつて、国家の「玄関」として建てられた。その後、65年もの空襲でドーム屋根を消失。戦後は戦時化された八角形屋根のまま高度経済成長を遂げて変遷していく日本の「夢」を見守り続けた。東京駅—そこには歴史と希望があった。

乗客も運転士も誇りだった 「新幹線に乗ること」

1990年の大阪万博のときに、雑誌の取材の仕事で大阪まで行ったときに新幹線に乗ったのが最初。純粋に新幹線に乗ってうれしかった。川村守継さん(69才)が当時を振り返る。

「1990年の大阪万博のときに、雑誌の取材の仕事で大阪まで行ったときに新幹線に乗ったのが最初。純粋に新幹線に乗ってうれしかった。川村守継さん(69才)が当時を振り返る。」

「乗客も運転士も誇りだった」と語る川村守継さん(69才)は、新幹線が走るたびに「日本の誇りを感じた」と語る。川村守継さんは、新幹線が走るたびに「日本の誇りを感じた」と語る。川村守継さんは、新幹線が走るたびに「日本の誇りを感じた」と語る。

次ページに拡大文字あり

川村守継さんのインタビュー記事あり

わけですが、案内に立ったホーム担当役も、ダイヤグラムと照合したその観察の鋭さには驚いていたそうです」

(前出・原口さん)

評論家の川本三郎さん(68才)は、東京駅の変遷は映画のなかにも表れていると話す。

「58年に公開された小津安二郎監督の『彼岸花』では冒頭、東京駅に新婚旅行のカップルの見送りで賑わう姿が映し出されます。当時は熱海が新婚

旅行先として人気で、東京駅

から東海道本線の列車に乗って出発したんです。それが高度成長期になると、東京駅のホームで、転勤になった社員を他の社員が万歳三唱で見送る姿が活写される映画が増え

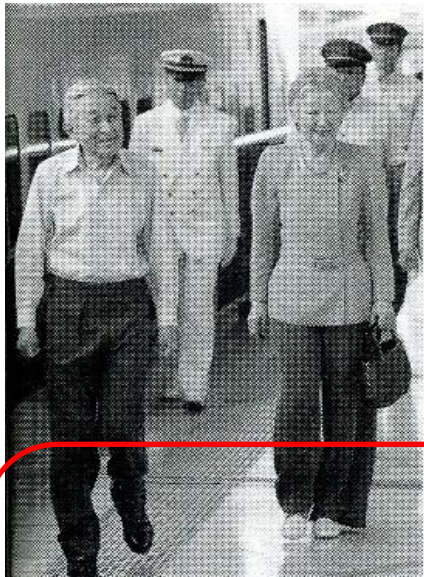
ていきます」
敗戦から立ち直り、それぞれの幸せを求め、懸命に働き、生きていた日本人。その姿を東京駅のプラトフォームは見守ってきたのだ。

乗客も運転士も誇りだった 「新幹線に乗ること」

そして1964年10月10日、東京オリンピックが開幕。それに間に合わせるように、10月1日に開通したのが東海道新幹線だった。東京駅と新大阪駅を「ひかり」が4時間、

「こだま」が5時間で結ぶ。当時、世界最速の時速200km超で走る新幹線は、まさに「夢の超特急」だった。

前出の嵐山光三郎さんは、初めて新幹線に乗った時の思い出は忘れられないという。



今夏、軽井沢へ静養に向かわれた時の両陛下のご様子。後ろに見えるのは東京駅駅長。

「1970年の大阪万博のときに、雑誌の取材の仕事で新大阪まで行ったときに新幹線に乗ったのが最初。鈍行の東海道線じゃなくて新幹線で行くっていうことに、なにか誇らしさを感じました」

日本が世界に誇る新幹線に乗ることへの憧れ。それは当時の国鉄の運転士にとっても同じだった。74年から5年間、東京〜新大阪間の運転士を務めた、川村守継さん(69才)

が当時を振り返る。
「それまでは在来線の運転助手をしていて、新幹線の運転士になるために試験

を受けました。290名近くのなかから合格したのはたった3人ですから、90倍以上の倍率です。合格後、半年間勉強、半年間見習いをして運転士になりました。新婚旅行のカップルが車両のいちばん前の運転席まで来て、『発車する前に記念に一緒に写真に入ってください』と頼まれたり、サインを求められたことが思い出深いですね」

当時、新幹線は「高級な乗り物」で、乗客はみんな正装で男性はスーツ、女性はスカート姿だったという。川村さんはその後、新大阪〜博多間の運転士となり、指導員を経て在来線の運転士に戻り、60才の退職まで運転士を務め上げた。走った距離は262万km、1万9500時間を無事故で過ごした。その川村さんにとっても、東京駅は特別な存在だった。

「東京駅は日本一の駅。その駅で運転士として働いていることが誇りでした。今日も電車が無事東京駅に到着した、出発したということが嬉しかったです」(川村さん)

東京駅の顔として定着していた2階建ての丸の内駅舎に危機が訪れたのは、バブル経済前夜の80年代後半のこと。スクラップ・アンド・ビルドで、何かにつけ新しいものに価値があるとされた時代だった。国鉄の巨額赤字が大きき問題になっていったこともあり、

2012年4月6-7日

別府温泉 再築別邸

昭和37年卒 大分工業高校機械科同窓会



衝藤 米田 甲斐 佐藤武 都 武田 高橋 佐藤勝 松本公 山口 津行

松本隆 内田 矢野 大城 首藤 大久保

川村 佐田 後藤 伊東 金子 木部先生 藤先生 高野 仲野 矢田 朝来野